

平成30年度 鬼怒中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

確かな学力，豊かな心，健やかな体の調和のとれた「生きる力」をはぐくむ。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

○ 気力あふれる生徒 ○ 創造性を伸ばす生徒 ○ 心の豊かな生徒 ○ 進んで仕事をする生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

（1）目指す学校像

- 活気に満ちた明るく，楽しい学校
- 互いを認め合い，思いやりのある学校
- 保護者・地域から信頼される学校

（2）目指す教師像

- 高い指導力と愛情をもって，生徒と向き合える教職員
- 生徒のよさを認め，伸ばす教職員
- 協調性に富み，責任感のある教職員

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

生徒を中心とした活気に満ちた明るく，楽しい学校づくりを目指し，全教職員が和と協力，熱意，人間尊重の精神を基盤に『生きる力』をはぐくむ教育に取り組むとともに，地域と連携・協力し特色ある学校経営を推進する。

- （1）確かな学力の育成・・・新学習指導要領の求める主体的・対話的で，深い学びとなるように授業の工夫改善に努める。また，自ら学習する態度の育成を図るため家庭学習の適切なやり方及び学習時間の確保について指導していく。
- （2）豊かな心の育成・・・生徒が活躍できる場の設定と異年齢集団活動及びボランティア活動の充実を図り，心豊かな生徒の育成に努める。
- （3）安全指導の徹底と健康体力の増進・・・登下校の安全の徹底を図るとともに食育及び心身の健康に関する指導の充実を図る。
- （4）特別支援教育の充実・・・全教職員の共通理解のもと，配慮が必要な生徒に対して組織体制を確立し，連携協力して指導する。
- （5）小中一貫教育の推進・・・地域学校園の部会組織を見直すとともに，小中が抱える共通の課題を明確化し連携して解決を図る。また，児童・生徒の交流する機会を検討し実践していく。
- （6）家庭・地域との連携強化・・・学校教育への理解を深めるため，家庭や地域に情報を積極的に発信するとともに，生徒の地域行事への参加を促す。
- （7）教職員の健康安全管理と資質の向上・・・校務の効率化を意識し，組織的な対応を図る。また各自が課題を意識し，教育のプロとしての自負と責任をもちコンプライアンスを遵守する。さらには，学びあいの精神で授業力の向上を図る。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

自立 ～よりよい判断をし，学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>【学校運営】・創意と調和のある教育課程の編成・実施するとともに学校課題の解決に努め、教職員が一致団結しての学年・学級経営にあたり、信頼される学校づくりを推進する。特に今年度は、教職員を組織化し「歯と口の健康指導」の研究への取組を通して、資質能力向上に努める。</p> <p>【学習指導】○主体的に学ぶ生徒の育成に務め確実に基礎・基本的内容の定着に努める。また、日頃から積極的に対話的活動を展開し、深い学びに繋げる。</p> <p>【児童生徒指導】○日常生活の中で優しい心を培うとともに集団生活を通して互いを認め合い、<u>他者</u>を思いやる態度の育成を図る。</p> <p>【健康（体力・保健・食・安全）】○進んで運動に親しむ態度の育成と、安全で心身が健康な生活を送る態度の育成を図る。</p>
--

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
B	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>①生徒主体の生徒会等の活動を推進するため、活動時間の工夫を図る。</p> <p>②互いに認め合う活動や一人一人の生徒が企画や運営に参加するよう目標や活動内容を意図的に設定する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は87%で、昨年度とほぼ同数である。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>目標やねらいを明確にした生徒主体の生徒加藤の活動を推進する。また、活動時間の確保と教師による適切な支援の充実を図る。</p>
	<p>A 2 教職員は協力し、生徒のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>生徒の回答と各種テストの結果にずれがあるため、今年度と同様、生徒の実態に即した指導の充実を図り、確実な基礎学力の定着、学習習慣の確立を目指す。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は約95%と指標を大きく上回る。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>生徒の実態を把握するための分析と学習形態や活動の流れ等の研究の充実を図るとともに、授業力の向上を図るために、実践する授業を教師間で公開する。</p>
	<p>A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>家庭と連携を密に図り、繰り返指導して基本的なルールやマナーの定着を図る。また、ボランティア活動等を通して、地域との連携を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は約79%で指標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>学業指導の充実を図るための共通理解を深め、家庭や地域との連携を図りながらルールやマナーについて実践的に学ぶ機会を増やす。</p> <p>教師が率先してTPOに応じたルールやマナーについて範を示す。</p>
	<p>A 4 教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 生徒の回答と実際の定着度に差があるため、各学年、各教科での授業実践を通して教師間の連携の拡充を図る。</p> <p>② ホームページや学習指導通信等を基に学校での取組や現状について家庭とのさらなる協力を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は約87%とほぼ横ばいである。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 生徒の回答と実際の定着度に差異があるため、各学年、各教科で授業実践を通しての授業を技術の向上を図る。</p> <p>② ホームページや学習指導通信等を基に学校での取組や現状について体系的に情報公開する。</p>

<p>A 5 学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>学校の取組について、家庭や地域に積極的に情報提供をし、生徒による人権意識の向上を図る活動を生徒とともに企画し、生徒主体の運営の支援を行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は約95%と指標を大きく上回る。</p> <p>【次年度の方針】 学校の取組について、家庭や地域に情報提供をするための方法を検討し、周知するとともに、生徒による人権意識の向上を図る活動を生徒とともに企画し、生徒主体の運営の支援を行う。</p>
<p>A 6 学校の日課、授業、行事などの教育課程は、適切に実施されている。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>学校行事などについて、実施後の振り返りから、問題点や改善策の検討を行い、課題の共有と工夫・改善を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答が約97%と指標を大きく上回る。</p> <p>【次年度の方針】 ① 学校行事などについて、実施後の振り返りから、問題点や改善策の検討を行い、課題の共有と工夫・改善を図る。 ② 保護者向けの行事の内容や時間の変更等については、早期にホームページやメール配信を活用し周知する。</p>
<p>A 7 学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信提供している。</p> <p>【数値指標】 ◎保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>本年度と同様、ホームページの定期的な更新や随時更新等積極的に情報提供につとめる。また、メール配信を活用し緊急時の対応等を図る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は約90%と指標を大きく上回る。</p> <p>【次年度の方針】 ① 本年度と同様、ホームページの定期的な更新や随時更新等積極的に情報提供につとめる。また、メール配信を活用し緊急時の対応等を図る。 ② 生徒指導、学習指導、進路指導については、たより等の発行の充実に努める。</p>
<p>A 8 学校は、家庭地域企業等と連携協力して、教育活動や学校運営の充実に努めている。</p> <p>【数値指標】 ◎地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>地域団体と地域連携教員及びコーディネーター、PTAとの連携を深め、ともに連携しながら特色ある学校づくりが定着するよう努めていく。</p>	<p>【達成状況】 地域住民の肯定的回答は95%と指標を大きく上回る。</p> <p>【次年度の方針】 ① 地域団体と地域連携教員及びコーディネーター、PTAとの連携を深め、ともに連携した特色ある学校づくりが定着するよう努めていく。 ② 生徒のボランティアの募集を計画的に行う。</p>
<p>A 9 学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である。</p> <p>【数値指標】 ◎保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>黙働清掃を継続実施し、生徒が自ら考え主体的に取り組める清掃指導の充実を目指す。特に教室やトイレの環境改善に努める。 また、緑化委員による花壇やグリーンカーテン、フラワーロードの整備、教室内の植物等の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は約86%と昨年とほぼ同様である。</p> <p>【次年度の方針】 黙働清掃を継続実施し、生徒が自ら考え主体的に取り組める清掃指導の充実を目指す。情操教育の観点から教室内の備品等の配置の適正化を図る。</p>
<p>A 10 学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答が80%以上</p>	<p>○地域学校園としての連携を9年間の発達段階に応じたキャリア教育、学習指導、児童生徒指導の計画を修正・改善する。 ○小中の教科等の連携を実践化し、相互に日々の授業に生かす。 ○生徒に小学校との関わりやつながりを意識するように情報発信を行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答が約84%と昨年度より9ポイント低下したが、指標は越えた。</p> <p>【次年度の方針】 ○ 地域学校園として小学校と連携を図り、9年間の発達段階に応じたキャリア教育、学習指導、児童生徒指導の計画を修正・改善する。 ○ 学力向上、不登校対策、特別支援教育の充実に向けた連携、協働を図る。</p>

	<p>A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>互いの専門性を生かした連携・協力体制が確立されている。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答が約29%であり、指標大幅に下回った。</p> <p>【次年度の方針】 互いの専門性を生かした連携・協力体制を充実させるために、相互の業務内容を理解し、組織としての運用法について再度検討する。</p>
	<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>互いの専門性の理解と尊重を図り、風通しのよい職員間の関係が確立されている。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答が約66%であった。</p> <p>【次年度の方針】 互いの職務・職責について学校運営規定を整理し職務・業務内容について理解を深め相互の連携を深めさせる努力をする。</p>
	<p>B1 生徒は、登下校の際、交通ルールやマナーを守っている。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>交通マナーの向上活動をルールの徹底に向けた指導を重点に行うとともに、委員会等の活動で生徒が主体的にルールやマナー向上についての取組を行うよう支援する。 また、危険箇所については、通学路の整備・見直しを実施し、保護者、地域からも行政に働きかけてもらう。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答が約66%と昨年度より9ポイント低下し指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 交通マナーやルールの徹底に向けた指導を重点に行うとともに、生徒が主体的に委員会等のルールやマナーについての取組を行うよう指導内容や指導方法について見直し、共通した指導を行う。</p>
教育活動の状況	<p>A13 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>◎生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>大きな声ではっきりとあいさつができるよう、登下校時や授業・部活動等で継続指導していくとともに、生徒会での挨拶運動を計画的に実施し、充実を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は約90%と昨年度とほぼ同様で指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 大きな声ではっきりとあいさつができるよう、登下校時や授業・部活動等で継続指導していくとともに、生徒会での挨拶運動を計画的に実施する。</p>
	<p>A14 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 ◎地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>時と場や目的相手を考えての言葉づかいについて、生徒会等を中心に啓発していき、道徳の授業との関連や家庭との連携も図りながら指導していく。また、教師自らが率先する。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 地域住民の肯定的回答は90%と指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 教職員自らが率先して範を示すとともに、TPOに応じた正しい言葉遣いについて、生徒会等で生徒自らが振り返り行える時間を確保する。</p>
	<p>B2 部活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>数値指標 ◎生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>心・技・体のバランスのとれた生徒の育成を目指し、継続して意欲的、自主的に取り組めるような活動の充実を図る。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は約97%で大きく指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 心・技・体のバランスのとれた生徒の育成を目指し、継続して意欲的、自主的に取り組むための積極的な休養日を設けるなど、部活動の指導の充実と在り方の見直しを図る。</p>
	<p>A15 生徒は、休み時間や放課後などに積極的に運動している。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>体育祭等、生徒会や専門委員会のイベントを適度に織り交ぜながら、進んで運動しようとする意欲をさらに高めていく。また、生徒が使用できる運動用具の充実を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答が約84%と昨年度より4ポイント低下したが、指標は越えた。</p> <p>【次年度の方針】 体育祭等、生徒会や専門委員会のイベントを適度に織り交ぜながら、進んで運動しようとする意欲をさらに高め、生徒が自由に使用できる運動用具等の充実を図る。</p>

学 習 等	<p>A16 生徒は、好き嫌いなく給食を食べている（嫌いなものでも1口は食べている）。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>保健体育や技術・家庭科の食育指導において、栄養が成長や運動に深く関わることを様々な機会に指導していく。また、給食の献立や調理方法にも工夫を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は約79%と昨年度より3ポイント向上したが指標は下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>保健体育や技術・家庭科の食育指導に伴って、栄養が成長や運動に深く関わることを意図的に指導していく。また、残菜が少なくなるよう給食の献立や調理方法にも工夫を図る。</p>
	<p>B3 体育の授業や学校行事各種大会を通して自分の健康・体力保持増進に対する関心を深めている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>健康診断や新体力テストの結果をもとに自分の健康に対する関心を高める。また、学校行事や部活動等で自分自身の目標値を設定させ、体力の維持・増進を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は約93%で指標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>健康診断や新体力テストの結果をもとに自分の健康に対する関心を高める。また、学校行事や部活動等で自分自身の目標値を設定させ、体力の維持・増進を図る。</p>
	<p>A17 生徒は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>グループやペアで互いに深め合い、学び合うなど生徒の主体的な学習場面を多く設定し、学習意欲の向上を図る。また、言語活動の充実を目指し、話し合う活動を意図的に取り入れ深まりのある授業展開の工夫を図る。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は約89%で昨年度とほぼ同様である。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>グループやペアで学習内容を互いに深めたり、学び合うなど生徒の主体的な学習場面を多く設定し、学習意欲の向上を図る。</p>
	<p>A18 生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いた学習している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てるとともに、教室の学習環境の整備に努める。また、基礎・基本事項の反復学習を行う。授業の展開の仕方やワークシートについても教職員での共通理解と共通指導の充実を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は約78%と昨年度より1ポイント向上したが指標達成までには至っていない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てるとともに、教室の学習環境の整備に努める。また、学業指導についても教職員での共通理解と共通指導の充実を図る。</p>
	<p>A19 生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>地域連携教員と地域協議会コーディネーター等との連携を図り、地域の行事の日程と部活動の練習計画の調整を図る。また、事後報告等を充実させ、保護者等に発信していく。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は約76%で指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>地域連携教員や地域協議会のコーディネーター等との連携を図り、地域の行事の日程と部活動の練習計画の調整を図り生徒が地域のボランティア活動に参加しやすくする。また、事後報告等を充実させ、保護者等に発信していく。</p>
	<p>B4 学校は、宿題を出したり、学習計画を立てさせたりして、学力の定着に努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>一定の評価をしながら、家庭での学習内容を検討し基礎・基本の定着が目に見えるような形での評価法を工夫する。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は約97%である。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>家庭での学習内容を検討し基礎・基本の定着が目に見えるような形での評価法を工夫する。また、教科間での偏りが出ないように調整を図る。</p>

<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B5 学校は、学力向上のための特色ある取組を推進している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート ◎ 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 夏季休業中の学習サポートは、具体的な計画を立案し、より効果的な運営に努める。</p> <p>② 地域協議会と連携した、学力向上のためのサポート事業を企画、運営する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は約89%である。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 夏季休業中に学習サポートを行うための、具体的な計画を立案し、より効果的な運営に努める。</p> <p>② 学力向上のため地域協議会と連携し、3年生を対象とした放課後学習の充実を図る。</p>
------------------	---	---	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<p>・教職員、保護者の肯定的回答が全体的に昨年と比べ低下した項目も見られたが、対象回答のほとんどが80%越えている。昨年度の課題となった共通質問のNo5については、保護者のポイントが向上しているが、学校の取組について、保護者会やホームページ、各種たより等で積極的な情報発信を継続する。特に、本校の課題である、学力の向上、不登校傾向生徒の減少、通常学級における特別支援の研究・充実を図るために、「生徒指導」「学習指導」「進路指導」については定期的に保護者の方へ情報を発信し、理解と協力を得られるよう、足並みをそろえた指導の充実を図る。</p> <p>○学力面については、基礎・基本の定着が小学校でも課題となっている。小・中の連携を図った学力向上に向けての取組を継続するとともに、一緒に取り組んでいる事項についても情報を発信していく。</p>
--

6 学校関係者評価

<p>・教職員評価が全ての項目で低くなったが、向上心のある先生ほど評価が厳しいので生徒に次年度に向けて準備をしっかりして取り組んでほしい。</p> <p>・勤務時間の改革が叫ばれているが、学業、集団的な活動、部活動等先生方の負担が大きいことがわかった。</p> <p>・学校全体が良い方向に向かっているのを感じる。学校の取組が保護者や生徒にも浸透してきて、昨年度より向上した項目がほとんどである。いじめの取組等は保護者の肯定的回答がさらに向上するように、取組の状況をホームページやたよりの工夫を図り、次年度も継続して周知に取り組んでほしい。</p> <p>・学力向上については小学校も共通しており、落ち着いた学習環境やわかる授業の展開が大切である。また、放課後等を活用した補充授業を次年度もさらに力を入れていく必要がある。</p> <p>・地域学校園での小中の生徒の取組意識の低さを解消するためには、あいさつ運動や新聞などの取組を展開するののも一つの方法である。</p> <p>・自転車の交通ルールの徹底やマナーの向上についてはさらに継続して取り組んでほしい。</p> <p>・生徒と地域のつながりという観点からも、地域の行事におけるボランティア活動は今後も継続してほしい。地域として大変助かっている。その際は、地域コーディネーターを十分に活用してほしい。(コーディネーターは地域へ周知を図る)</p> <p>・アンケートの結果は受け止めるべきは受け止めるべきだが、それだけに左右されずに、学校としての方針を貫いてほしい。また、設問については、全体的にわかりづらいと感じている。教職員、保護者、地域、生徒が活動等を振り返って回答しやすいよう今後はわかりやすい(具体的な)ように設問にするようお願いしたい。</p>
--

7 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<p>○学力向上や基本的な生活習慣については、今後も学校とともに地域学校園とも具体策を検討しながら連携して指導していく。特に小中連携に関しては小中児童生徒の意識を高めるため、あいさつ運動での小学校への中学生訪問、学校紹介の新聞や交流等地域学校園間の取組を企画し、事後は積極的に生徒、保護者、地域に学校ホームページ等を活用して周知していく。</p> <p>・いじめに関する学校の取組については、保護者へさらに積極的に情報公開を図る。</p> <p>・自転車通学者のマナーについては、保護者や地域の協力が必要不可欠であり、地域協議会の協力を得て、自治会の回覧板等を通じ状況を知らせながら協力を呼びかけていきたい。</p> <p>・生徒のボランティア活動については、さらなる充実を図るため地域コーディネーターを十分に活用し、学校・生徒・地域の連携と調整を図っていく。</p> <p>○部活動と地域行事の調整を図る意味でも、地域学校園のカレンダーの作成を考えていきたい。</p> <p>○設問については、答える立場側に立ったわかり易いものにしてほしい</p>
